

令和7年度(2025年度)

社会福祉法人 清流会

事業報告書

目次

社会福祉法人清流会

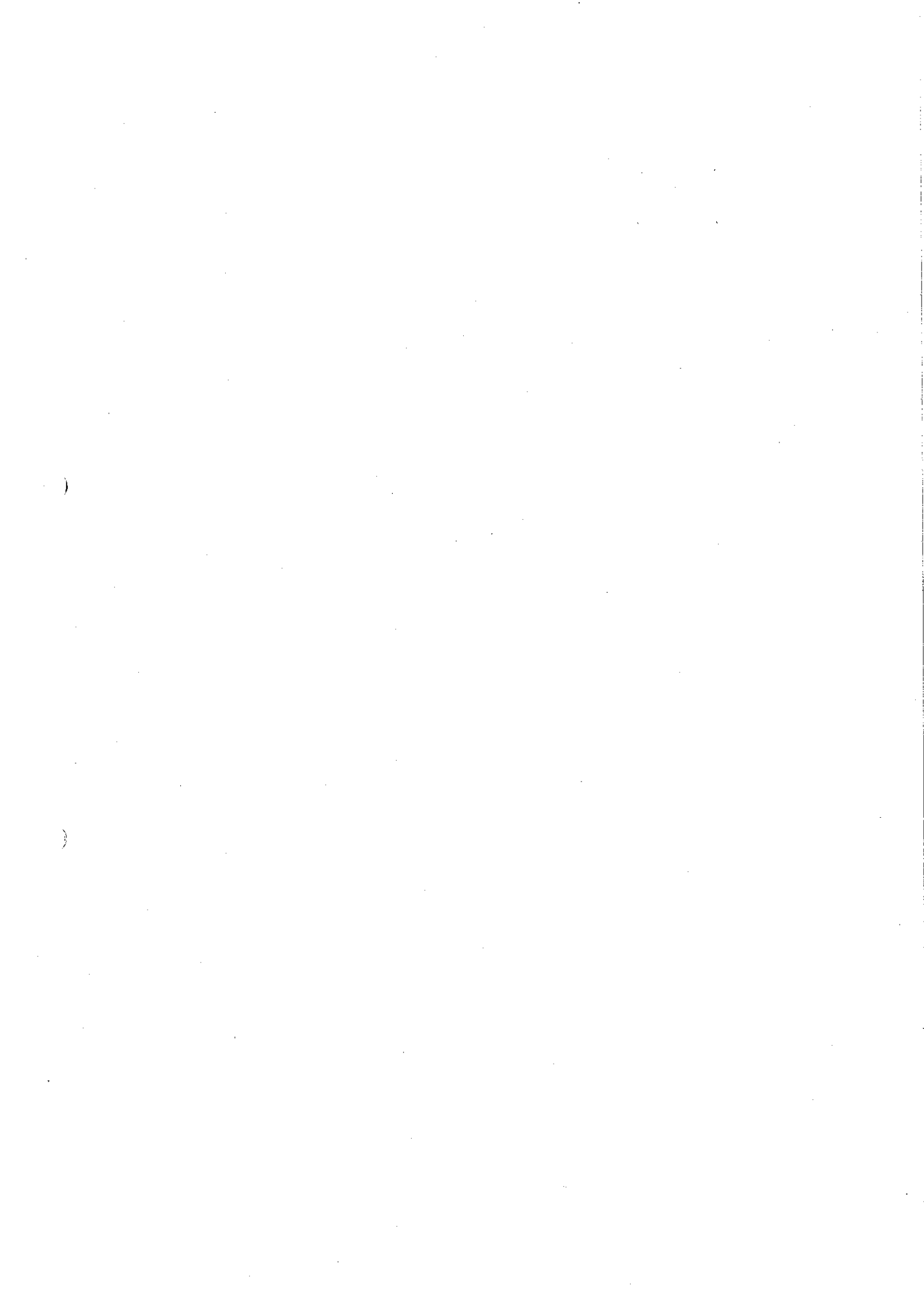
氷川学園

氷川学園グループホーム事業所

氷川学園相談支援事業所 風舎

氷川学園児童デイサービス事業所 風楽

熊本県南部発達障がい者支援センターわるつ



令和7年度 社会福祉法人清流会 法人本部事業報告

1 事業概要

令和7年度は、社会福祉法人清流会として、各事業所が安定したサービス提供を継続できるような法人運営の強化に努めた。

理事会及び評議員会を適切に開催し、法人運営の透明性確保と経営基盤の安定化を図るとともに、関係法令や制度改正への対応を進めた。

また、人材確保及び育成に取り組み、職員研修の実施や人事考課制度の運用を通じて職員の資質向上に努めた。

さらに、介護テクノロジー導入支援事業を活用した眠りSCAN及びWi-Fi環境整備事業の準備を進めるなど、ICT活用による業務効率化及びサービスの質の向上に向けた取り組みを行った。

2 法人運営

理事会及び評議員会を開催し、事業計画、予算、決算及び重要事項について審議を行った。

また、監事監査を受け、適正な法人運営及び財務管理に努めた。

諸規程についても制度改正や法人運営上の必要性に応じて見直しを行い、内部統制の強化を図った。

【理事会開催状況】

日時	出席状況	議題
令和7年5月29日(木)	理事6名 監事2名 欠席者無	・令和6年度社会福祉法人清流会事業報告承認の件 ・令和6年度社会福祉法人清流会収支決算・監事監査報告承認の件 ・理事候補者選出の件 ・監事候補者選出の件 ・評議員候補者選出の件 ・社会福祉法人清流会定款一部変更の件 ・評議員選任・解任委員会選出の件 ・評議員選任・解任委員会招集の件 ・評議員会招集の件
令和7年6月19日(木)	理事6名 監事2名 欠席者無	・理事長選定の件
令和8年3月27日(金)	理事5名 監事1名 欠席 理事1名 監事1名	・令和7年度社会福祉法人清流会補正予算(案)承認の件 ・令和8年度社会福祉法人清流会事業計画(案)承認の件 ・令和8年度社会福祉法人清流会収支予算(案)承認の件 ・業務委託契約承認の件 ・役員賠償責任保険の加入及び法人の保険料負担の件

		<ul style="list-style-type: none"> ・経理規程一部変更の件 ・運営規程変更の件 ・給与規程変更の件
--	--	---

【評議員会】

日時	出席状況	議題
令和7年6月19日(木)	評議員6名 欠席 評議員1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度社会福祉法人清流会事業報告の件 ・令和6年度社会福祉法人清流会収支決算・監事監査報告承認の件 ・社会福祉法人清流会選任について ・社会福祉法人清流会監事の選任について ・社会福祉法人清流会定款一部変更の件

3 人材確保及び育成

職員の採用活動を継続して実施するとともに、人事考課制度を活用した人材育成に取り組んだ。

また、虐待防止、身体拘束等の適正化、感染症対策、業務継続計画（BCP）等の各種研修を実施し、職員の専門性向上に努めた。

外国人職員の受入れ及び定着支援にも取り組み、多様な人材が働きやすい職場環境づくりを進めた。

4 経営基盤の強化

各事業所の収支状況を定期的に確認し、安定した法人経営に努めた。

また、各種補助金及び助成制度の活用を進め、施設設備及びICT環境の整備に向けた財源確保を図った。

5 施設整備及びICT推進

施設設備の維持管理及び計画的な修繕に努めるとともに、介護テクノロジー導入支援事業を活用した眠りSCAN及びWi-Fi環境整備事業の導入準備を進めた。

今後もICTの活用を推進し、職員の業務負担軽減及び利用者サービスの向上を目指す。

6 地域との連携

地域関係機関との連携を図りながら、障がい福祉サービスの充実に努めた。

また、氷川学園及び氷川学園グループホーム事業所において地域連携推進会議を開催するなど、地域連携を図る事業運営を推進した。

7 今後に向けて

少子高齢化による人材確保の課題や制度改正への対応が求められる中、引き続き法人運営の安定化とサービスの質の向上に取り組む。

また、ICT及び介護テクノロジーの活用を進めながら、利用者一人ひとりが安心して生活できる環境づくり、また職員が安心して働き続けることができるよう努めていく。

令和7年度 氷川学園 事業報告

◎ 総括

中東情勢の悪化により物価高騰が続いており、食材費や光熱費・送迎車両の燃料代の急激な高騰により負担が増額している。又、ナフサの供給不足により、感染症や日常必要となる手袋や紙おむつ等の価格も上昇、調達が困難な状況も見られている。

利用者様の状況として施設入所の高齢化が急激に進んでいる。高齢化に対する支援体制が課題となった。知的障害がある利用者様は、老化の進みが早いと言われていています。身体機能の低下により転倒による骨折が増加傾向にあった。各活動班においては、それぞれの身体機能に合わせた運動の実施を中心に活動を組み立て、専門家によるリハビリや運動プログラムへのアドバイスを受けながら身体機能低下に取り組んできた。入所利用を開始され40年以上の方々が現在、70代～80代となられ、65歳以上の方が18名と約50%であり、嚥下障害により口から食事の摂取が難しくなり、介護保険へと移行されるケースも見られている。又、利用者様への体調の急変への対応が課題となった。

今後も知的障害者の高齢化に対する在り方を検討しスキルアップを目指していく必要がある。

福祉の業界だけでなくどの業界においても人手不足が言われている中、人材確保に関して、働きやすい職場環境を整え、育休取得率のアップを目指し、介護・子育て等の事情に合わせて働きやすい環境づくりに取り組んできたが離職者があり人材の確保に課題が残った。

1 職員状況

- ・主任支援員 6月30日付け 退職（正社員）
- ・支援員 6月30日付け 退職（正社員）
- ・支援員 3月31日付け 退職（正社員）
- ・支援員 3月31日付け 退職（正社員）
- ・支援員 3月31日付け 退職（正社員）

2 利用者様状況

- ・女性 5月28日付け 施設入所利用開始
- ・男性 7月11日付け 施設入所利用解除
- ・女性 9月30日付け 生活介護利用解除
- ・男性 12月12日付け 施設入所利用解除
- ・女性 3月1日付け 生活介護利用開始
- ・女性 3月22日付け 施設入所契約解除

契約状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	39名	39名	40名	40名	39名	39名	39名	39名	39名	38名	38名	38名
生介	66名	66名	67名	67名	66名	66名	65名	65名	65名	64名	64名	65名

3. 活動支援状況

☆ 生活介護（活動）

日中活動利用者の個々人の状況の違いは大きく、障害特性、年齢、身体的機能等で居宅3グループ、入所4グループの編成し取り組んできた。身体機能低下予防・リハビリ等を重点的に取り組みながら活動を組み立てながらリハビリ専門(ワーカーズケア様)に月に一回来園頂き、職員への指導・アドバイス及び、利用者様のアセスメント・リハビリの実施に取り組んで頂いている。

「サニー班」入所・・・身体及び精神状況、障害特性などから個別での活動を主として進めており、ADLの維持にむけて個々のプログラムに沿って活動を実施した。

個別のプログラム作成においては、外部の専門家との連携により計画実施し定期的（4か月に一度）のモニタリングを行い進めた。

活動内容として運動プログラムでは、歩行運動を基本として屋内外の歩行、階段や段差の設定による下肢筋力強化を行い日常生活時のつまずき、転倒の予防に繋げた。また、机上での巧緻動作の活動を通じて機能面や認知面の低下防止に努めていき、利用者様の健康維持に繋がった。

季節ごとの自然や行事をモチーフにした工作やドライブ、おやつ作りなど余暇的な活動の実施により、情緒の安定を図った。活動実施時、実施後の利用者様それぞれの反応・感想などから充実された様子が感じられた。

今後も利用者様の加齢に伴う心身の機能の変化に対応し、個々のプログラムの支援を実施していくことが必要と思われる。

「あおぞら班」入所・・・重度の知的障害・自閉症スペクトラム症の利用者様が在籍されており、それぞれの利用者様に合わせて活動プログラムの作成を行ってきた。構造化を取り入れ、活動内容を場所によって区別しやすく設定し、その場に移動することで活動内容の明確化を図っている。また、日中の流れとして、午前を個別課題、午後から運動と固定し活動の提供を行って、活動への促しのツールを使用してきたため受け入れよく参加出来ておられた。個別課題は管理棟の一室を活動と余暇のエリアに分けて参加して頂いた。運動は交流ホームを利用し、主に歩行運動の提供であるが、取り組む時間、休憩時間の区別がつきやすいように設定に取り組んできた。加齢に伴う筋力低下を防止する為毎日の活動で運動を取り入れ、習慣化を図ることで、運動不足の解消や生活リズムを整えることができた。

「きらり班」入所・・・利用様の大半が高齢であり、集団活動や個別活動はそれぞれの特徴（趣味）を活かしながら活動の提供から身体状況や精神状態等、その日心身の状態を確認しながら、個々人に合わせた活動を実施。又、他ユニットからも移動して頂き一緒に活動を行う取り組みを実施してきた。

一日の流れとして午前中、体操・歩行運動・踏み台昇降・起立訓練等、身体機能に合わせて安全を確保しながら実施。午後は個別活動や制作・課題と入浴を実施。

月行事では季節に応じた制作物やユニット菜園で育てた野菜類を使用した調理実習に取り組んできた。

外部講師としてさをり織りの指導を受け作品展示や販売活動また、外部の訪問販売等を利用しながら楽しみながら活動に取り組んで頂いた。

「スマイル」入所・・・高齢の利用者様への支援であり、朝からのバイタルチェックから毎日の健康状態の把握から始めている。活動として個人のペースに合わせて無理のない範囲で体操・歩行運動・音楽活動・動画視聴等を行ってきた。主に身体機能の低下防止を目標に掲げ、器具（平行棒やふっとケア等）を用いながら取り組んできた。ゆっくりした環境で個別課題や季節に応じた制作・調理実習等の活動で楽しんで頂けるように実施してきた。

「ひまわり」居宅・・・利用者様個々人の特性に合わせて環境を整理し、視覚的な支援を取り入れながら安心して過ごして頂けるように支援を行った。構造化された環境の中、見通しをもって過ごして頂くことで、課題に集中して取り組まれたり、運動やドライブなど個別課題以外の活動内容であってもスムーズに取り組まれる様子が見られている。。また、新しく支援を始めるときや、支援方法の変更の際には、職員間で情報の共有を確実にし、支援方法に違いがないように努め、職員が変わっても同様の支援が提供できるようにし、利用者様の安心へと繋がるように実施を行った。今後も利用者様への理解を深めながら、それぞれの方にあつた支援を提供できるように取り組んでいく必要がある

「ぼれぼれ」居宅・・・利用者様個々人の状況に応じて、身体機能の維持、低下防止や体力作りに繋がるように運動を中心に取り組んで頂いた。毎日の活動の中で、歩行運動を中心に日々体を動かして頂き、全身を使った動きやストレッチで可動域を広げ、様々な訓練の中自ら体を動かすことにも着目し、アプローチを行ってきた。毎日の取り組んで頂くことで、習慣性がみられ、声掛けや促しが無くても自立してできることも見られるようになっている。また、マッサージや温浴では、心地よさを感じて頂けることを心がけ、ご自分の思いを言葉で伝えられることが難しい方々の表情から、思いを汲み取りながら、個々人にあわせた活動の提供に取り組むを行っている。活動を通して身体機能の維持や生活のリズムが整うことを念頭に支援を組み立て、今後も継続し、笑顔で健康に安全に過ごして頂けるように取り組んでいく。

「エンジョイ」居宅・・・利用者様の身体機能低下防止の為、運動のメニューを必ず毎日取り入れている。年齢が30代～70代と幅が広い為運動内容は年齢や障害の程度に合わせて個別に設定が必要であった。活動の充実を図るためにもダンスやストレッチ、運動器具を使用し機能低下防止に努めた。また、定期的にレクリエーションや外出を活動メニューに取り入れている。月行事として、季節に応じた制作や調理実習（おやつ作る、梅シロップ作り、お茶摘みなど）に取り組んでいる。毎週火曜日には、外部からさをりの指導を受けながら作品として作り上げ、作品展示会を実施できた。

活動班	利用者	支援職員	活動班	利用者	支援職員
きらり (入所)	男性 6名 女性 3名	4名	ひまわり (居宅)	男性 9名 女性 2名	6名
サニー (入所)	男性 4名 女性 5名	5名	ぼれぼれ (居宅)	女性 3名	2名
スマイル (入所)	男性 4名 女性 5名	6名	エンジョイ (居宅)	男性 5名 女性 7名	3名
あおぞら (入所)	男性 5名 女性 5名	5名			

4 施設機能強化事業

☆短期入所事業 ☆日中一時事業

職員の確保及び、利用者様の重度化による職員の増員配置が必要な状況があり、安全に利用して頂くには日勤帯、夜勤帯での通常の職員配置にプラスしての支援者配置が必要な状況があるため再開が難しい。
短期入所事業・日中一時事業は引き続き休止の対応をとらせて頂いた。

☆広報誌発行

「がくえんだより」・・・毎月 5 日

利用者のご家族向けに配布。

《内容》誕生者記載・月行事のお知らせ案内

連絡事項・利用者の様子苦情・要望等

「四季便りあゆみ」・・・年 4 回・300 部発行

《内容》 園内外の行事、利用者の様子・活動報告・
研修等の報告・地域の声等

《配布先》利用者家族・桜ヶ丘地区全戸・法人役員・関係福祉事務所
関係行政機関・町内役職者・議員・個人

※ホームページに掲載

☆ 「地域との関わり」

学校教育関係

学 校 名	日 時	内 容
八代農業高校	7月16日(水)	介護職員初任者研修(講師派遣)
宮原小学校	10月25日(土)	ふれあいフェスタ(講師派遣)

外部講師

団体・個人名	日 時	主たる内容
嶋崎悦子 様	5月21日(月)～ 6月27日(金)	金波楼作品展示会 ※毎週火曜日来園 さをり織り指導

☆研修・視察・訓練受け入れ及び講師派遣

日 時		団 体 ・ 個人名	備 考
7月	1日	つくしの里	施設見学
7月	14日	鏡町民生児童員	法人概要説明
8月	19日	ちなもい	法人概要説明 活動体験
10月	25日	宮原小ふれあいフェスタ (PTA 主催)	講師派遣
1月	16日	地域連携推進会議 (ご家族・利用者・ 民生児童員区長・氷川町福祉課)	施設見学 概要説明 質疑応答
2月	18日	氷川町民生児童員	炊き出し訓練

5. リスクマネジメント

・ひやりはっと報告

提出数 23件

内容：服薬関係・・・6件 転倒・・・5件 接触・・・0件
 怪我・・・4件 発作・・・0件 誤飲・・・0件
 食事・・・3件 その他・・・5件

※服薬に関する件数が多い要因は、事故に直結するため、慎重に且つ、丁寧な確認作業が必要であると考え。殆どの利用者様が薬の服用をされていることから確認作業や保管・実際に服薬される方法等をその都度、検討を重ねて全職員に周知を行ってきた。

・事故報告書

提出数 8件

内容：骨折・・・4件 裂傷・・・1件
 縫合・・・0件 打撲・・・0件
 服薬・・・1件 感染症・・・2件
 その他・・・0件

※加齢に伴う転倒による骨折が増加している。加齢に伴う身体機能の低下は早く年々増加傾向にある。転倒等の事故を0にすることは難しいと思われるが。ひやりはっとを検証しながら、環境の設定等を確認しながら今後は今まで以上に見守り体制を整えていく必要があると考える

感染症集団、感染新型コロナウイルス (利用者 19名・職員 4名) による県・市町村へ事故報告書の提出を行っている。又、流行性角結膜炎 (はやり目) (利用者様 3名・職員 2名) が感染し約3週間と長く、1ユニットが活動の停止となった。

・ 苦情解決

苦情受付・解決数

苦情解決数	解決数	第三者委員関わり
0件	0件	0件

苦情申し出人

ご本人	ご家族	代理人	地域・その他
0件	0件	0人	0人

苦情内容

施設整備	衣類 関係	入浴・ 排泄	傷 病気	職員言動	利用者同士 トラブル	職員の ミス	その他
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

※苦情として0件であったがご家族、利用者様とでコミュニケーションを図り、言いやすい環境を今後も整えていく必要がある。

又、苦情とカスハラとの線引きを明確にするマニュアルを作成、対応職員が相談できる組織体制を整えている。

6. 職員研修

令和7年度 園外研修会参加状況

月 日	研修名	主催	場所	参加者
5月22日(木)	障がい者虐待防止 オープンセミナー	熊本県	八代振興局	
6月11日(水)	介護セミナー	(株)ケアパーク	ケアパーク	
7月8日(火)	アンガーマネジメント研修	熊本県障がい者施設協会	熊本県総合福祉センター	
7月24日(木)	人権研修会	熊本県障がい者施設協会	嘉島町民会館	
7月29日(火) ～ 7月30日(水)	中堅研修	熊本県社会福祉協議会	熊本県総合福祉センター	
8月7日(木)	公正採用選考人権研修	八代労働局	桜十字ホール八代	
8月26日(火) ～ 8月27日(水)	福祉職員キャリアパス対応 障害研修課程 第1回チームリーダーコース	熊本県社会福祉協議会	熊本県総合福祉センター	
8月27日(水) ～ 8月28日(木)	防火管理者講習	八代広域行政事務組合	くまもと県民交流館パレア	
8月28日(木)	メンタルヘルス研修会	熊本県社会福祉協議会	WEB	
9月18日(木)	高齢者低栄養研修会	熊本県八代保健所	県南広域本部	
10月20日(月)	障害者支援施設部会研修会	熊本県障がい者施設協会	くまもと県民交流館パレア	
10月28日(火)～ 10月29日(水)	第24回ジェントル ティーチング公開ワー クショップ	社会福祉法人桃花塾 日本ジェントルティーチング研究会	すばるホール	
11月7日(金)	職員研修会	熊本県障がい者施設協会	嘉島町民会館	
2月6日(金)	家族・職員合同研修会	熊本県障がい者施設協会	くまもと県民交流館パレア	
2月19日(木) ～ 2月20日(金)	サービス管理責任者更新研修	一般財団法人保健福祉振興財団	くまもと県民交流館パレア	
3月5日(木)～ 3月6日(金)	サービス管理責任者更新研修	一般財団法人保健福祉振興財団	くまもと県民交流館パレア	

開催日	時間	内 容	講 師	受講者
☆新任研修				
4月1日(火)	10:00~ 12:00	就業規則・事業説明 事業計画説明 支援者として 障害者虐待防止法 障害者差別解消法	管理者 村山智	支援員 3名
☆身体拘束適正化研修				
4月30日(水)	17:00~ 18:30	セルフチェック集計報告 身体拘束について (グループワーク)	管理者 村山智 サビ管 本村洋介	氷川学園 22名 風楽 1名 風舎 2名 GH 1名
☆防災研修				
6月5日(水)	17:00~ 18:00	グループに分かれての防災ゲームの実施	管理者 村山智	支援員 12名
☆食中毒についての研修				
6月16日(月) ~ 6月27日(金)	17:15~ (動画視聴)	医療・介護のプロが知っておきたい ~熱中症や食中毒、その予防と対処法~	松永早苗氏	氷川学園 全職員
☆ジェントルティーチング研修(法人合同研修会)				
8月9日(土)	15:00~ 17:00	ジェントルティーチングの基礎を学 び、 基本、支援の在り方を考える	きずな学園 理事長 十島真理氏	氷川学園 17名 風楽 5名 風舎 2名 八代愛育会職員 27名
☆フレイルについての研修				
9月8日(月) ~ 9月22日(月)	17:15~ (動画視聴)	フレイル高齢者への包括的ケア ~重度化予防と自立支援の取り組み~	服部真治氏	氷川学園 全職員
☆感染症研修				
10月6日(月) ~ 10月25日 (土)	17:15~ (動画視聴)	施設における集団感染への対策 ~BCPでリスクを最小限に~	黒木利恵氏	氷川学園 全職員

開催日	時間	内 容	講 師	受講者
-----	----	-----	-----	-----

☆口腔ケアについての研修

12月8日(月) ～ 12月24日 (水)	17:15～ (動画視聴)	心のコもった食支援の方法と工夫 ～食べる喜びを最後まで～	前田慶子氏	氷川学園 全職員
--------------------------------	------------------	---------------------------------	-------	----------

☆階層別研修①

12月9日(火)	17:00～ 18:00	ジェントルティーチングの基礎を学び、 支援の基本、支援の在り方を考える	管理者 村山智	支援員 3名
----------	-----------------	--	---------	--------

☆高齢者支援研修

12月25日(木)	15:00～ 17:30	基本介助技術研修 摂食嚥下講習	<株式会社 WORKERS CARE 代表取締役> 伊藤 哲氏 <株式会社 WORKERS CARE 言語聴覚師> 本 村大輔氏	氷川学園 全職員
-----------	-----------------	--------------------	---	----------

☆摂食嚥下についての研修

1月14日(水) ～ 1月31日(土)	17:15～ (動画視聴)	「おいしく食べ続けたい！」を支えるた めのケア～食べる力を引き出し、誤嚥 を予防するための知識とケアの工夫～	金志純氏	氷川学園 全職員
---------------------------	------------------	--	------	----------

☆利用者様の生活歴を知る研修

1月29日(木)	17:00～ 18:00	利用者の方が、これまでにどのような生活・ 経験をされてきたのかを知る事で、現状のご 本人の言動や状況にどのような影響があっ たのか等、利用者様への理解を深める	管理者 村山智	支援員10名
----------	-----------------	--	---------	--------

☆感染症研修

2月2日(月) ～ 2月28日(土)	17:15～ (動画視聴)	市中感染、家庭感染はこうして防ごう ～施設職員のための注意ポイント～	公益社団法人 日本看護協 会 看護研修学校 認定看護師教育課程 課長 渋谷智恵氏	氷川学園 全職員
--------------------------	------------------	---------------------------------------	---	----------

発達障がい研修

開催日	内 容	講 師	受講者
5月21日(水)	わるつコンサル 園内研修について		
6月21日(土) 8月18日(月) 8月27日(金)	わるつ発達障がい連続講座		
7月10日(木)	わるつコンサル 園内研修について		
8月1日(金) ~ 8月15日(金)	発達障がい研修 (動画視聴)		
9月30日(火)	わるつコンサル 園内研修について		
10月27日(月)	わるつコンサル 園内研修について		
11月7日(金)	発達障がい研修 (演習)		
12月15日(月)	わるつコンサル 園内研修について		
12月23日(火)	発達障がい研修 (演習)		
1月8日(木)	発達障がい研修 (園内研修)		
1月10日(土)	発達障がいトピック講座		
2月27日(金)	わるつコンサル 園内研修について		
3月14日(土)	わるつフォローアップ研修		

7.食事支援

◆主な行事食内容

月	日	計画	実施
4	1	開園記念日	赤飯、サラダちくわ、天ぶら盛、春のお煮しめ、蕎麦汁、オレンジゼリー おやつ:紅白饅頭
	17	誕生日会	ダブル親子丼、春の白和え、のっぺい汁、コーヒーアラモード
	22	富山県グルメ	おにぎり、ブラックラーメン風、餃子、オレンジ (おやつ)いもがもち
5	5	子供の日	大人のランチプレート:高菜明太オムライス、ハンバーグ、ナポリタン、ウインナー、ポターージュ、コーヒーゼリー
	15	誕生日会	かしわおにぎり、山葵福寿、ぶっかけ蕎麦、豆腐メンチカツ、茶わん蒸し (おやつ)ケーキ
	22	ピクニック弁当	山菜たけのこごはん、チキン南蛮、ひじき大豆煮、玉子焼き、ジャーマンポテト
	30	長野県グルメ	おにぎり、ローメン、山賊焼き、ヨーグルト
6	19	誕生日会	五目ちらし寿司、にらメンチカツ、フレンチポテトサラダ、もやし海苔スープババロアセレクト (おやつ)ケーキ
	25	非常食体験	非常食(レトルト)肉じゃが、ポークカレー、鯖の味噌煮など 25日、27日、30日
	27	山梨県グルメ	おにぎり、ほうとううどん、じゃが芋の揚げ煮、ミルク葛餅
7	7	七夕	かしわおにぎり、七夕そうめん、コーン枝豆かき揚げ、芋ようかん
	17	誕生日会	うなぎ散らし寿司、コロッケ、キャロットラペ、ジュリアンスープ、牛乳プリン生姜シロップ
	24	静岡県グルメ	茶そば、御厨そば風、おざく、ピーチゼリー
8	9	ミニ納涼祭(夕食)	焼きそば、唐揚げ、たこ焼き、いも天、おにぎり
	21	誕生日会	ロコモコミックス丼、春雨サラダ、じゃが芋スープ、豆花 (おやつ) ケーキ
	28	愛知県グルメ	ごはん、味噌カツ、小松菜天かす和え、たまごスープ
9	13	敬老会	赤飯、尾頭付き鯛の塩焼き(還暦の方)天ぶら盛り、きのこ白和え、ミニお蕎麦
	18	誕生日会	高菜チャーハン、骨付きチキン、南瓜サラダ、春雨スープ、栗ババロア (おやつ)ケーキ
	25	秋のお彼岸	(おやつ)おはぎ
	25	岐阜県グルメ	鶏ちゃん焼き丼、からし豆腐風、清まし汁、マンゴー
10	23	誕生日会	山菜おにぎり、栗おにぎり、南瓜コロッケ、柿マリネ、豚汁、牛乳プリン (おやつ)ケーキ
	24	石川県グルメ	ハントンライス、棒棒鶏和え、ジュリアンスープ、フルーチェ
11	15	ひかわの森マルシェ☆	カレーライス、焼きそば、コロッケ、唐揚げ、アメリカンドック、ポテト、たこ焼き、いも天、おにぎり
	20	誕生日会	ミニホットドック、マカロニグラタン、秋サラダ、ジュリアンスープ、コーヒーゼリー
	28	福井県グルメ	ポルガライス、シーザーサラダ、もやしスープ、プリン
12	18	誕生日会	散らし寿司、ミルフィユかつ、南瓜いとこ煮、茶わん蒸しきのこあん、フルーツ (おやつ) ケーキ
	25	クリスマス忘年会	オムライス、ローストチキン&エビフライ、ポテトサラダ、スープ、マスカットゼリー (おやつ)ケーキ
	31	大晦日	麦ご飯、肉豆腐、人参生姜サラダ、年越しそば 夕食時 (おやつ)南瓜焼きだご
1	1	元旦の朝食	ごはん、お雑煮、おせち盛り合わせ (黒豆、伊達巻、紅白なます)
	1	元旦	赤飯、天ぶら盛り、伊達巻、柿白和え、栗きんとん、茶わん蒸し、赤酒に代わる飲み物
	7	七草粥	七草粥、鯖の味噌煮、菜の花の中華炒め、清まし汁
	15	誕生日会	あんかけチャーハン、チキンカツ、鮭フライタルタル、大根梅おかか和え、なめこ汁、あんみつ (おやつ)ケーキ
2	30	滋賀県グルメ	サラダパン、イタリア焼きそば、茄子ツナ甘酢和え、杏仁豆腐
	3	節分	恵方巻き(散らし寿司)、鱈の揚げ漬、小松菜天かす和え、けんちん汁、豆花・おやつ :節分の豆、甘納豆
	19	誕生日会	明太フランスパン、海老グラタン、梅コールスローサラダ、トマトスープ、チョコババロア
3	27	三重県グルメ	ごはん、トンテキ、切干大根柚子ポンサラダ、味噌汁
	3	ひな祭り	手巻き寿司、福寿司、鱈のフリッタータルタル、小松菜ピーナッツ和え、茶わん蒸し、甘酒プリン
	19	誕生日会	ハンバーガー、オニオンリング、ポテト、春野菜マリネ、クラムチャウダー、フルーツ (おやつ)ケーキ
27	奈良県グルメ	おにぎり、天理スタミナラーメン、しゅうまい、黒胡麻プリン	

◎会議

- ・運営会議、職員会議、担当職員、看護師からの報告をもとに主に利用者さんの健康状態の報告、特別食の摂取報告 調理方法の確認、翌月のメニューの確認、誕生会の特別食の決定、誕生者の希望メニューの検討、決定
- ・衛生や摂食・嚥下についての勉強会の実施。
- ・翌月のメニューは、たけのこ会(利用者の月1回の会議)で上がった希望メニューを検討し取り入れている。後日、委託給食会社と給食ミーティングを実施。月末月に1回
- ・委託本部の方、委託栄養士、厨房職員、園の栄養士参加で実施している。

◎入所の給食

- ・各ユニットにもキッチンがあり、本年度はユニット毎のおやつや昼食の調理を、利用者様と活動内で実施されています。
- ・手洗いや三角巾、エプロン、マスク着用と衛生面の徹底を行い、実施されています。
- ・ユニットによっては、利用者様も一緒に配膳をしています。
- ・食物繊維摂取強化のため毎回夕食時に麦ご飯提供。

◎居宅の給食

- ・厨房と居宅との距離が離れたため、自動車配膳・下膳運搬しました。
- ・ランチ皿(弁当容器)を使用して提供しました。
 - ・ごはん、汁物は、おひつ、保温ジャーで提供し、通所職員で温かい状態で、配膳しました。
 - ・1年を通して活動時、食事用にキーパーに麦茶を作り提供しました。

◎たけのこ会

利用者様へ季節ごとの健康や栄養の注意点をお知らせする。
利用者様へおやつの希望をおたずねし、翌月の献立に反映し、感想を聞いている。
厨房より来月の季節メニューを提示してもらい、利用者様に選択して頂き来月の献立に反映していく。
利用者様には写真で提示し選択して頂いている。次月のたけのこ会で感想を聞いている。
本年度は、食中毒の勉強会や嚥下体操など健康給食部会で参加している。

◎ご本人のお誕生日

利用者様誕生日当日の昼食時、希望メニューの提供とご本人のみ誕生ケーキとドリンクを提供し、他の皆様より祝福を受けて頂く。

◎保菌検査

施設栄養士、受託栄養士、受託厨房職員は、毎月1回月初めに提出し、保菌検査を実施する。

◎非常食・備蓄品

非常時の食料、水、使い捨て容器、ガスコンロ、ガスボンベ等の備蓄品準備も3日間100人分の確保が出来ている
非常時の想定を厨房スタッフと話し合い、マニュアルを作成している。
ムース食や特別食の非常食も確保し期限をみながら通常の食事にも提供するようにしている。

◎さくらユニット利用者様残食調査

- ・R元12月～現在までの朝、昼、夕毎日、厨房により残食調査を実施。毎月集計し、食事摂取状況をまとめている状況により栄養補助ドリンクを取り入れられている。
- ・全体の残食量も減っている。支援員の工夫が功を奏していると思われる。
- ・テーブルの配置、利用者様に合った食器で提供、食べる時間帯、活動内での調理実習・テイクアウトなど利用者楽しんで 食事が出来るように工夫されている。

◎毎月の体重・BMIの表作成

- ・体重測定後、毎月体重・BMIを表に作成し看護師、職員に共有してもらう。
- ・ごはん量の決定の目安にしている。

◎口腔ケア事業研修会

- ・食事を楽しくしっかり摂るにあたり、口腔ケア重要になってくる。
- ・2024年7月9月のたけのこ会で利用者様と嚥下体操、クイズ方式で口腔ケアの勉強会を実施した。
- ・歯ブラシの選び方や声掛けの方法など支援員、看護師と共有し利用者様の口腔ケアに取り入れていく。
- ・今年度も支援員、看護師と共に口腔ケアについて学び個々の利用者様に対応していく。

☆課題・工夫

咀嚼不全による消化不良、誤飲、誤嚥による肺炎併発などの疾病に繋がるケースなど、直接命に関わる課題がある。調理方法の工夫と調理に携わる職員全員が一貫性を持って、利用者個々人の状態把握に努めるなど、常に支援員や看護師と厨房スタッフの連携が更に必要である。

個々に合わせた食材の切り方、一口大刻み、小刻みまたは、とろみ剤の使用も増えてきている。

特に入所高齢ユニットでは、半分以上の利用者様に提供している。

2番刻みから3番刻みに変更された方もおられる。支援員、看護師とお一人ずつ検討し見直しを図った。

麺を荒みじんにし、とろみをつけ、のど越しをよくしている。以前麺メニューの時、咳き込まれていた方もスムーズに食べられるようになっている。

食物繊維摂取を目的に、入所夕食時に毎日麦ご飯を提供している。

利用者様の摂食状態に合わせた食器、コップ、スプーン、フォークなどを検討し、使用して頂いている。

支援員、厨房職員と連携を取り、安全、安心に気をつけて取り組んでいる。

◆ 1年を振り返って ◆

- ・ 2025年4月に委託給食 株式会社トータルメディカルサービス様より株式会社なの花へ社名変更。
米不足の影響により日本米の高騰。委託側より相談あり。ブレンド米の提案あり。
試食後、採用、現在ブレンド米で提供中。

- ・ 利用者さんの高齢化に伴う著しい身体機能低下・内臓疾患発症など、短期間での変化が著しく、利用者さんおひとりおひとりの状況に即応した、支援(食事の提供)の必要性は必然である。
全体的に減塩を心がけ、たんぱく質不足しない献立づくり、調理をしていく。
また、食物繊維の摂取も心がけていきたいと思う。夕食に毎日麦ご飯提供。
牛乳提供が減るためカルシウムの補給が課題となってくる。

委託栄養士とメニュー食材を検討し、主な栄養成分の目標摂取量に近づいてきている。

今後も継続し、1日野菜、海藻、豆類合計350g摂取を目標に献立を検討していきます。

それと同時に、生活の中で大きく、外すことの出来ない楽しみである。「食事」を、楽しく・美味しく・満足して頂くための努力を惜しまないようと思う。献立の工夫として、セレクトメニューや季節の新鮮な旬の食材を取り入れる。マンネリ化しないように、利用者様の意見を取り入れたメニューや給食の献立を工夫している。

委託会社への日々の要望も、ほぼ対応してもらい、メニュー、盛り付けにも工夫して貰っている。

利用者様の個人別の栄養管理表を作成し、定期的な体重の増減管理、BMI、年齢、活動状況により、カロリーをはじめ栄養の過不足の確認を日々行う。看護師、支援員と共有していくことに努める。

また、コレステロール過剰気味の利用者様に対して、食事、間食、運動などで

徐々に標準数値に近づいているが、今後も支援員、看護師と受託栄養士、調理員と連携しながら標準値になられるように取り組む。

8. 保健衛生

○嘱託医院 緒方内科

・緒方内科健康診断 6月

検査内容：問診・血圧・身長・体重・腹囲・検尿・胸部レントゲン

利用者38名 再検査実施者なし。

・定期診察 毎月第一火曜日15:00～ 28名

・インフルエンザ・コロナ予防接種 入所者全員 居宅希望者

・深夜業務者健診 6月

検査内容：問診・採血・検尿・身長・体重・聴力・視力・心電図・胸部レントゲン

深夜業務者 23名

○熊本総合病院職員健康診断 2・3月

内容：問診・血圧・身長・体重・採血・視力・聴力・心電図・胸部レントゲン

・胃カメラ・子宮頸がん検診・乳がん検診

○日赤健康診断 9月

内容：問診・血圧・身長・体重・採血・検尿・視力・聴力・心電図・胸部レントゲン

利用者65名

○定期通院状況 (毎月1回)

・緒方内科 28名 ・平成病院 15名 ・八代更生病院 8名

・八代病院 2名 ・みやもと泌尿器科 5名

・ピネル記念病院 2名 ・八代デンタル訪問歯科 31名

○受診医院

・黒田耳鼻科 ・よかと整形 ・北部地域医療センター

・堀内眼科 ・荒木皮膚科

○感染症

・新型コロナウイルス 5月23日～5月30日 利用者19名 職員4名

・流行性角結膜炎(はやり目) 10月7日～10月30日 利用者3名 職員2名

○入院者

氏名	年齢	病名	入院先	入院期間

9. 人事考課

当法人では、人材育成及び支援の質の向上を目的として、人事考課制度を導入している。

人事考課制度は、職員の日頃の支援や業務への取り組みを振り返り、職員個々の成長及び組織運営へ活かすことを目的として実施しているものである。

また、障害福祉サービスにおける処遇改善加算では、職員の資質向上やキャリアアップの仕組みづくりが求められており、人事考課制度もその一環として位置付けられている。

制度運用にあたっては、社会保険労務士 森光子氏より助言を受け、人事考課に関する研修、就業規則等の見直し、ハラスメント対策等について継続的に取り組んでいる。

なお、社会福祉法人は営利を目的とした法人ではなく、人事考課は単に給与の増減を目的とするものではない。利用者支援への姿勢、法人運営への協力、業務遂行状況等を確認し、より良い支援及び組織運営につなげるための制度として運用している。

詳細については、給与規程及び職能等級規程に基づき実施している。

令和7年度 人事考課制度に関する研修内容

期 日	研修内容	講師	参加者 (対象者)
令和 7年 4月 11日	人事評価について	森光子氏	考課者 2名
令和 7年 5月 15日	就業規則について	森光子氏	考課者 2名
令和 7年 7月 22日	人事評価について	森光子氏	考課者 4名
令和 7年 11月 19日	人事考課について	森光子氏	考課者 2名
令和 8年 1月 6日	人事考課について	森光子氏	考課者 5名
令和 8年 2月 17日	特定技能外国人について	森光子氏	考課者 2名
令和 8年 3月 4日	人事評価について 次年度事業計画	森光子氏	考課者 2名

人事考課評価面接 令和7年9月中に上期の評価及び下期の目標設定

令和8年3月中に下期の評価及び令和8年上期の目標設定を行った。

10 実施事業一覧

日	4月			5月			6月			7月		
	曜日	事務管理	利用者活動	園内外会議・研修	曜日	事務管理	利用者活動	園内外会議・研修	曜日	事務管理	利用者活動	園内外会議・研修
1	火	開園記念日	開園記念日	運営会議	日	桜ヶ丘区役			火			園内外会議・研修 つしの里施設 見学来園
2	水				月		長寿祝い	運営会議	水		たけのこ会	
3	木				火	消防記念日			木			職員会議
4	金				日	みどりの日			金			
5	土				月	こどもの日			土		エアコン掃除(居宅)	
6	日				火	振替休日		職員会議 特別支援教育会議	日			
7	月				水		たけのこ会		月			
8	火		たけのこ会	職員会議	木				火			社団法人ガーデナーズクラブ 園地整備推進委員会
9	水	八代支援学校入学式			金				水			
10	木			職員会議	土				木			わかるつコンサル
11	金				日			介護セミナー	金			
12	土				月			緑内障予防対策 委員会	土			
13	日				火				日			
14	月				水				月			練町民生委員研修
15	火				木		誕生会		火			日赤検診
16	水			研修倫理委員会	金				水			八代農業演習介蔵 職員初任者研修
17	木		誕生会		土	親善会落成式			木		エアコン掃除	誕生会
18	金				日				金			
19	土				月		人形劇(ヤマハ 労働組合)		土			
20	日				火	城青地区施設長会			日			
21	月		ワーカーズケア来園		水		金枝器作品展示会 ワーカーズケア来園	わかるつコンサル	月			海の日
22	火	施設長連絡協議会			木			県障害者虐待防止	火			人事研修
23	水				金			新婦学卒説明会	水			日中高齢者支援部会 研修推進委員会
24	木				土				木			人権研修会
25	金				日				金			施設体育委員会
26	土	家族会総会			月				土			
27	日				火				日			
28	月				水				月			運営会議
29	火	昭和の日	自由帰省		木	法人理事會			火			社協中堅職員研修
30	水			身体障害者矯正化研修	金			運営会議	水			永川中ワーカーズ キャンプ
31	木				土				木			職員会議

実施事業一覧

日	8月			9月			10月			11月		
	曜日	事務管理	利用者活動	曜日	事務管理	利用者活動	曜日	事務管理	利用者活動	曜日	事務管理	利用者活動
1	金			月			水			土		
2	土			火		社会福祉法人 法令研修	木			日	桜ヶ丘区役	
3	日			水			金	わくわくフェスタ 会議		月	文化の日	
4	月		たけのこ会	木			土			火		たけのこ会
5	火			金			日			水		
6	水		納涼祭	土			月		親善スポーツ大会	木		
7	木	水川町文化会連合会		日			火		たけのこ会	金		
8	金			月		オンライン研修 フレイル(園内)	水			土		水川町文化祭
9	土			火			木	10月25日の研修・見学 水川町文化会連合会		日		
10	日			水			金			月		
11	月	海の日		木			土			火		
12	火			金			日			水		
13	水		夏季休暇	土		フロンコライブ 敬老会	月	スポーツの日		木		
14	木			日			火			金		
15	金			月			水			土		ひかわの森 マルシェ
16	土			火			木			日		
17	日			水			金			月		
18	月			木		日中活動支援協会 高齢者就業 研修会	土			火		インフルエンザ 予防接種
19	火	ちなみえ来園		金			日			水		スマイルフェスタ 九州医師会看護実践研修 運営会議
20	水			土			月			木		ワーカースケア来園 誕生会
21	木			日			火			金		
22	金			月			水		運営会議	土		ワーカースケア来園 誕生会
23	土			火			木			日	秋分の日	職員会議
24	日			水			金		ワーカースケア来園 誕生会	月		勤労感謝の日 振替休日
25	月			木			土			火		消防点検 まちづくり酒屋 作品展示
26	火			金			日			水		
27	水			土			月			木		
28	木			日			火			金		
29	金			月			水			土		
30	土			火			木			日		
31	日						金					

実施事業一覧

日	12月			1月			2月			3月		
	曜日	事務管理	利用者活動	曜日	事務管理	利用者活動	曜日	事務管理	利用者活動	曜日	事務管理	利用者活動
1月	木	八代地域支援部会菜園		日	元旦	冬季休暇	日			日		
2月	金		たけのこ会	月			月			月		
3月	土			火			火		節分	火		
4月	日			水			水		たけのこ会	水		
5月	月			木	仕事始め		木			木		サービス管理責任者更新研修
6月	火			金		人事研修	金			金		サービス管理責任者更新研修
7月	水		水川町福祉大会	土		たけのこ会	土			土		
8月	木			日		避難訓練	日			日		
9月	火			金			月			月		避難訓練
10月	水	ホリタシステム法定点後		土			火			火		
11月	木			日			水	建国記念の日		水	八代支援学校卒業式	
12月	金			月	成人の日		木		ワーカースケア	木	職員会議	
13月	土			火			金	城南ブロック施設長会		金		
14日	水			土			土			土		わかるつフォローアップ研修
15月	木			日		誕生会	日			日		
16月	火		ワーカースケア菜園	金			月			月		
17月	水			土			火			火		
18月	木			日			水		炊き出し訓練	水	経営協議会セミナー	ワーカースケア菜園
19金				月			木			木	サービス管理責任者更新研修	誕生会
20土				火			金	八代園遊園地がいそぎ支援協議会		金	春分の日	
21日				水			土			土		
22月				木			日			日		
23火				金			月	天皇誕生日		月		
24水				土			火			火	研修委員会 宮原小学校卒業式	施設協会種別部会
25木			クリスマス忘年会	日			水	八代地域養育ネットワーグ会議		水		
26金				月			木			木		
27土		仕事納め		火		健康診断	金	水川町特別支援連絡協議会		金	法人理事会	
28日				水			土			土		
29月				木		健康診断	日			日		
30火				金		健康診断	月			月		
31水				土		健康診断	火			火		

令和7年度 氷川学園グループホーム事業所 事業報告書

1. 施設概要

☆氷川学園グループホーム事業所

たんぽぽ荘 定員5名 現員3名

〒869-4602

熊本県八代郡氷川町宮原 1272-3

なずな荘 定員4名 現員3名

〒869-4608

熊本県八代郡氷川町宮原栄久 86-1

ひまわり荘 定員5名 現員3名

〒869-4602

熊本県八代郡氷川町宮原 713-9

☆職員配置

- ・管理者(兼務)1名
- ・サービス管理責任者(生活支援員兼)1名
- ・生活支援員(世話人兼) 4名
- ・世話人 4名

☆利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
利用実績	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	
内入院状況	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	

2. 保健衛生について

- ・協力医療機関 緒方内科 定期通院(月1回)8名
- ・八代デンタルクリニックによる訪問歯科各ホームにて実施 (月2回)9名
- ・八代更生病院定期通院(月1回)1名
- ・新型コロナウイルス感染状況 令和7年5月23日~令和7年6月2日まで 感染利用者様6名
(たんぽぽ荘2名 ひまわり荘1名 なずな荘3名)

3. 余暇支援について

- ・土日祝日を利用してウォーキングや個別ドライブ等の外出を実施。
全体での行事として
令和7年10月5日(日)熊本県施設親善スポーツ大会参加
令和7年10月19日(日)すまいるフェスタ参加(多良木町)
令和7年11月29日(土)ナイスハート参加(人吉市)
- ・2ヶ月1回程度訪問散髪を実施してもらい、それぞれの要望に応じた散髪を行ってもらっている。

4. 消防訓練について

(夜間帯を想定し机上訓練を実施)

令和8年2月12日(木)ひまわり荘(参加者:支援者3名)15:00~16:00

他職員は個別にてサビ管より説明、引継ぎを実施

(夜間想定での避難訓練を実施)

令和8年3月7日(土)ひまわり荘・たんぽぽ荘・なずな荘 15:30~16:00

参加者各ホーム利用者様(9名)全員及び当日出勤職員(3名)

5.職員研修関係

開催日時	研修名	講師	受講者
令和7年4月29日(火)	身体拘束適正化研修	氷川学園管理者	生活支援員1名
令和7年5月22日(木)	虐待防止のためのオープンセミナー	熊本県広域専門相談員	サビ管1名
令和7年10月15日～ 10月31日	業務継続計画(感染症)に関する研修	神奈川県立循環器呼吸器センター 黒木利恵氏	世話人2名 生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名
令和8年2月15日～ 2月20日	感染症予防及びまん延防止に関する研修	社会福祉法人貴弘会	世話人4名 生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名
令和8年3月2日～ 3月6日	虐待防止に関する基礎研修	神戸市社会福祉協議会	世話人4名 生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名
令和8年3月8日～ 3月13日	身体拘束等の適正化のための研修	日本コミュニケーションズ	世話人4名 生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名
令和8年3月16日～ 3月23日	業務継続計画(災害)研修	社会福祉法人あけあい会	世話人4名 生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名

職員訓練関係

開催日時	訓練名	内容	受講者
令和8年2月18日(水)	法人内防災訓練	炊き出し訓練	サビ管1名 管理者1名
令和8年2月24日(火) AM7:00	業務継続計画(災害)に関わる訓練	安否確認メール送信訓練	生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名
令和8年2月23日～ 2月27日	感染症予防及びまん延防止に関する訓練	嘔吐物処理実施訓練	世話人4名 生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名
令和8年3月23日～ 3月27日	業務継続計画(感染症)に関わる訓練計画	防護服着脱訓練	世話人4名 生活支援員3名 サビ管1名 管理者1名

6.地域連携推進会議について

令和7年1月16日(木)15時より、氷川学園会議室において、氷川学園グループホームとして初めての地域連携推進会議を開催した。

当日は、地域関係者、関係機関、家族等へグループホームの運営状況や支援内容について説明を行うとともに、意見交換を実施した。また、グループホーム内の見学も行い、利用者の生活環境や日頃の支援の様子について理解を深めていただく機会となった。

今後も地域との連携を図りながら、開かれたグループホーム運営に努めていく

7.その他

毎月1回 グループホーム職員会議を実施

会議では、利用者支援に関する情報共有、事故防止及び感染症対策、業務改善、行事計画、各種研修内容の共有等を行い、職員間の連携強化及び支援の質の向上に努めた。

また、利用者の状況変化や課題等について職員間で確認を行うことで、統一した支援につなげるとともに、円滑な事業運営を図った。

令和7年度 相談支援事業 事業報告書

氷川学園相談支援事業所 風舎(計画相談支援・障害児相談支援)
障害者相談支援事業所 ひかわ(八代圏域障害者相談支援事業委託)

1. 事業概要

【氷川学園相談支援事業所風舎】では、障害児者及びその家族等からの相談に応じ、必要な情報提供、助言、関係機関との連絡調整等を行い、地域で安心して生活できるよう支援を行った。また、利用者一人ひとりの思いや生活状況を大切にしながら、関係機関との連携を図り、継続した支援体制の構築に努めた。

【職員配置】

・管理者(兼務)1名 ・相談支援専門員(専従)1名(兼務)1名

【障害者相談支援事業所ひかわ】では、障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、福祉サービスの利用援助、関係機関との連絡調整、権利擁護、地域生活支援等を実施した。また、利用者一人ひとりの思いや生活状況を大切にしながら、保健、医療、福祉、教育、就労等の関係機関と連携し、地域で安心して生活できるよう総合的な相談支援を行ってきた。さらに、八代圏域障がい者支援協議会や関係機関との連携を図り、地域課題の把握や支援体制の充実に努めるとともに、支援困難事例への対応や災害時支援等についても取り組んでいる。

【職員配置】

・相談支援専門員(専従)1名

2. 【氷川学園相談支援事業所風舎】計画相談支援・障害児相談支援

サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成、モニタリングを実施し、利用者の状況変化やニーズに応じた支援につなげた。

特に、利用者本人の意思決定支援を意識し、本人や家族の思いを確認しながら支援方針の調整を行った。

また、サービス担当者会議等を通じて関係機関との情報共有を図り、地域生活の継続に向けた支援を行った。

【契約者数】 145人 令和7年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	15	5	5	9	2	5	5	1	1	3	4	7	62
モニタリング	12	10	33	13	17	40	16	10	31	9	12	35	238
児童計画	1	1	1	2	2	0	4	2	0	1	4	3	21
児童モニタリング	1	0	2	4	4	1	0	3	4	1	0	3	23

3. 【障害者相談支援事業所ひかわ】八代圏域障害者相談支援事業

相談内容としては、福祉サービス利用、医療機関との連携、生活上の不安、家族支援、就労や進路に関する相談等が多く見られた。

また、相談内容が複雑化・多様化するケースも増えており、行政機関、医療機関、学校、サービス事業所等との連携を図りながら支援を行った。

【利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	10	13	15	17	18	20	23	24	29	29	30	32	
うち新規	3	3	2	2	1	2	3	1	5	0	1	2	25
支援実人数	11	12	8	8	8	13	15	15	15	14	12	14	
支援延べ回数	30	22	15	20	15	21	39	26	27	32	29	29	305

4. 関係機関との連携

八代市、氷川町、相談支援専門員協会、医療機関、学校、障害福祉サービス事業所等と連携を図りながら支援を行った。

利用者支援においては、関係機関との情報共有やケース会議等を通じ、課題整理や支援方針の確認を行い、継続した支援につなげた。

5. 職員共有及び職員研修

(1) 職員共有

利用者支援に関する情報共有、困難ケースへの対応、事故防止及び感染症対策、制度改正、業務改善等について確認を行い、職員間の連携強化及び支援の質の向上に努めた。

また、利用者の状況変化や課題等について共有することで、統一した支援につなげるとともに、円滑な事業運営を図った。

(2) 職員研修

法人内研修及び外部研修へ参加し、相談支援に必要な知識及び技術の向上に努めた。

主な内容として、虐待防止、感染症対策、身体拘束等適正化、業務継続計画（BCP）、権利擁護、意思決定支援等に関する研修を実施した。

8. 今後の課題

相談内容の複雑化や支援ニーズの多様化に伴い、相談支援専門員に求められる役割も増加している。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、制度理解や支援技術の向上に努め、利用者本人及び家族が安心して地域生活を継続できるよう支援体制の充実を図っていく。

令和7年度
氷川学園児童デイサービス事業所 風楽 事業報告

1. 事業目的

氷川学園児童デイサービス事業所風楽は、児童福祉法に基づき、障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、当該障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的として事業を実施した。

また、個々の特性や発達段階に応じた支援を行うことで、身辺自立、生活能力の向上、対人関係の形成及び社会参加につながる支援に努めた。

2. 事業概要

児童発達支援及び放課後等デイサービスを実施し、障がいのある児童や発達に特性のある児童に対して、集団活動や個別活動を通じた療育支援を行った。

児童発達支援では、年齢や発達段階に応じたクラス編成を行い、「自分でやってみる」「自分で選ぶ」経験を積み重ねながら、基本的な生活習慣やコミュニケーション能力の向上を目指した。

と、親子療育や保護者交流会を実施し、家庭との連携を図るとともに、保護者同士が情報共有や相談を行える機会づくりに努めた。

放課後等デイサービスでは、集団の中で役割を持って活動する経験を大切に、日常生活動作の習得や社会性の向上を図った。また、余暇活動や季節行事、社会体験活動などを通じ、楽しみながら経験を広げる支援に取り組んだ。

支援にあたっては、保護者、学校、関係機関との連携を図りながら、利用児一人ひとりの特性やニーズに応じた個別支援計画に基づく支援を実施した。

3. 運営状況

(1) 利用対象

市町より受給決定を受けている18歳までの児童

(2) 営業日及び営業時間

月曜日から金曜日 9:00~18:00

※祝祭日、8月13日~15日、12月29日~1月3日を除く。

(3) サービス提供時間

【児童発達支援】

・10:00~11:30 ・10:00~12:00

【放課後等デイサービス】

・14:00~17:00

(4) 利用定員

1日10名

(5) 週間スケジュール

曜日	午前(児童発達支援)	午後(放課後等デイサービス)
月	年長児クラス	就学児
火	年中児クラス	就学児
水	個別療育	就学児
木	年少児クラス	就学児
金	3歳未満児クラス	就学児

4. 主な取り組み

(1) 療育支援

集団療育では、遊びや活動を通じて、コミュニケーション能力や対人関係の形成、基本的な生活習慣の定着を図った。また、個々の発達段階に応じて、成功体験を積み重ねることを大切にし、自発性や自己肯定感につながる支援に努めた。

個別療育では、利用児一人ひとりの特性や課題に応じた支援を行い、集中力や感覚面への配慮、コミュニケーション支援等に取り組んだ。

(2) 保護者支援

保護者交流会や親子療育を実施し、家庭での関わり方や子育てに関する情報共有を行った。また、日々の送迎時や面談等を通して保護者との連携を図り、不安や悩みについて相談しやすい関係づくりに努めた。

(3) 地域及び関係機関連携

学校、保育園、幼稚園、相談支援事業所等と連携を図り、利用児の支援内容について情報共有を行った。また、必要に応じて担当者会議等へ参加し、統一した支援につながるよう努めた。

(4) 安全管理・感染症対策

避難訓練や緊急時対応訓練を実施し、災害や事故発生時における対応力向上に努めた。また、感染症対策として、手洗い・消毒・換気等の基本的な感染対策を継続して実施した。

●利用児保護者間の交流会実施：年間7回（平日・土・日曜日の半日開催、親のみや親子参加型の内容）

	開催日	テーマ	参加対象	参加者数
①	令和7年4月5日(土)	世界自閉症啓発イベント参加	親子参加	1名
②	令和7年5月2日(金)	将来のお金の管理について	保護者のみ	4名
③	令和7年7月19日(土)	サポートファイルについて	親子参加	15名
④	令和7年9月12日(金)	茶話会	保護者のみ	2名
⑤	令和8年1月12日(月)	オープン風楽(風楽の開放)	親子参加	9名
⑥	令和8年3月21日(土)	事業説明・いろいろな道具の展示	親子参加	16名

6. 職員配置状況

管理者(常勤 兼務)1名

児童発達支援管理責任者(常勤 専従)1名

児童指導員(常勤 専従)1名

保育士(常勤 非常勤 専従)2名

指導員(常勤 専従)1名

7. 利用状況

(1) 契約者数

	令和6年									令和7年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	45	45	45	47	47	47	47	47	48	47	45	45
就学前	12	12	12	14	14	14	14	14	15	15	15	15
就学児	33	33	33	33	33	33	33	33	33	32	30	30

(2) 月別利用実績

	令和6年									令和7年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就学前	11	12	12	12	44	43	43	42	44	45	42	43
就学児	27	28	30	30	31	29	29	28	30	30	27	28

8. 年齢状況 令和8年3月31日現在

	未満児	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男児	0	0	4	5	4	3	3	2	1	2	3	2	1	0	1	0	31
女児	0	3	2	1	0	2	1	1	0	1	0	2	1	0	0	0	14
	0	3	6	6	4	5	4	3	1	3	3	4	2	0	1	0	45

9. 利用地域 令和8年3月31日現在

	氷川町	八代市	計
男児	16	16	32
女児	8	5	13
合計	24	21	45

10. 職員研修実施状況

研修名	日時	参加者
障害者福祉施設従事者等による虐待防止に向けて	令和7年5月22日(木)13:00-16:00	児発管
児童発達支援センターのぞみ定期支援	令和7年6月6日(金)午前中	全スタッフ
第1回氷川町特別支援教育コーディネーター研修	令和7年6月20日(金)14:00-16:00	児発管
身体拘束適正化研修	令和7年7月30日(木)10:00-11:30	児発管・児童指導員・指導員
新任者研修	令和7年8月8日(金)	全スタッフ
虐待防止研修	令和7年8月9日(土)15:00-17:00	全スタッフ
業務継続計画(BCP)災害研修	令和7年8月30日(水)	児発管・児童指導員・指導員
業務継続計画(BCP)感染症研修	令和7年8月30日(水)	児発管・児童指導員・指導員
障害児通所支援事業所スタッフ向けスキルアップ研修	令和7年9月2日(火)	児童指導員
八代圏域通所支援事業所合同勉強会	令和7年11月25日(火)13:00-14:30	児発管・保育士・指導員
発達検査の種類と目的	令和7年11月29日(土)10:00-11:00	全スタッフ
感染症予防及びまん延防止研修	令和7年10月3日(金)9:30-10:30	全スタッフ

11. 訓練実施状況

訓練名	日時	参加者
心肺蘇生・AED使用訓練	令和7年5月23日(金)	全スタッフ
水遊び事故対応訓練(机上訓練)	令和7年6月20日(金)	全スタッフ
水遊び事故対応訓練(机上訓練)	令和7年7月18日(金)	全スタッフ
避難訓練(火災)	令和7年9月25日(水)-10月1日(水)	スタッフ・児・保護者
外歩きシミュレーション(机上訓練)	令和7年10月31日(金)	全スタッフ
不審者対応訓練(机上訓練)	令和7年12月26日(金)	全スタッフ
虫刺され対応訓練・気道内異物除去訓練	令和7年12月26日(金)	全スタッフ
避難訓練(地震)	令和8年2月16日(月)-2月27日(金)	スタッフ・児・保護者
炊き出し訓練	令和8年2月18日(水)10:00-11:30	保育士
業務継続計画(BCP)災害訓練	令和8年2月24日(火)	全スタッフ
災害時送迎シミュレーション・送迎事故対応訓練(机上訓練)	令和8年3月31日(火)	全スタッフ
感染症予防及びまん延防止訓練	令和8年3月13日(金)9:30-9:45	児童指導員・保育士・指導員
業務継続計画(BCP)感染症訓練	令和8年3月13日(金)9:45-10:00	児童指導員・保育士・指導員

12. 総括

令和7年度は、利用児一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を行いながら、安心して過ごせる環境づくりに努めた。また、保護者との連携や関係機関との情報共有を継続し、家庭や学校等を含めた一貫した支援につながるよう取り組んだ。今後も、利用児が自分らしく安心して過ごせる場所となるよう、一人ひとりの思いや成長を大切にしながら、より良い支援の提供に努めていきたい。